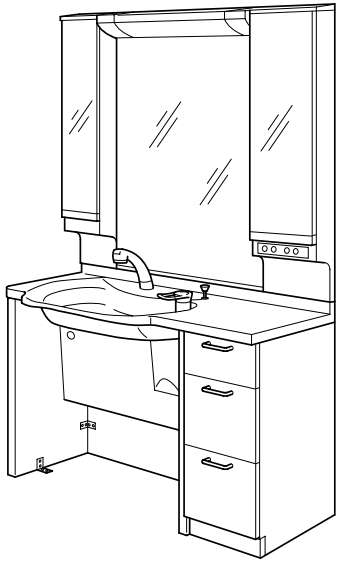
TOTO

施工説明書

洗面化粧台



もくじ

1. 安全上の注意……2
2. 工事寸法……4
3. 部品明細……6
4. 設置上の注意……8
5. 取り付け前の準備……8
6. 使用条件……8
7. 施工のながれ……9
8. 取り付け手順……10
1 止水栓の取り付け……10
2 キャビネットの組み立て……11
3 キャビネットの固定……11
4 洗面ボウルの取り付け……12
5 水栓金具の取り付け……12
6 給水・給湯・シャワーホースの接続……12
7 水受けトレイの取り付け……13
8 ワンプッシュ排水ボタンの取り付け…13
9 排水トラップの取り付け（床排水の場合）…14
10 排水トラップの取り付け（壁排水の場合）…15
11 ワンプッシュ排水栓の接続……15
12 配管カバーの取り付け（床排水の場合）…16
13 床給水管カバーの取り付け（床給水の場合）…16
14 配管カバーの取り付け（左右カバーの場合）…16
15 ニースペース板の取り付け……17
16 オプション（セーフティカバーの取り付け）…17
9. 寒冷地タイプの水抜き方法……18
10. 取付け完了後の確認と清掃……18

◆製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

◆取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

2008.4
W06790

1. 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
  この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●人が損害を負う可能性が想定される内容 ●物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

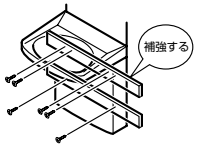
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

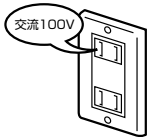
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

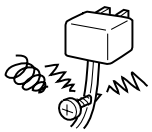
⚠警告

壁固定ねじの取付位置に木さんをいれて補強する	電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行う
キャビネットが転倒しケガをする原因になります。	火災や感電および水漏れの原因になります。

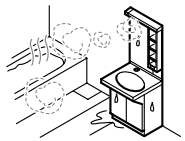


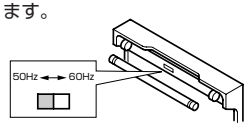
交流100Vを使用する	電源コードを傷付けない
交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。	電源コードを傷付けると火災の原因になります。特に壁固定の際は気を付けてください。





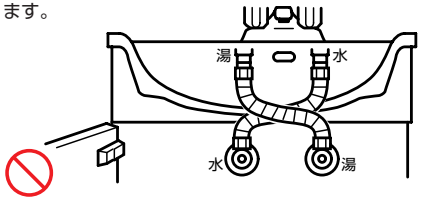
浴室など湿気の多い場所へ設置しない	使用地域の周波数に合わせる	コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない
漏電により感電する原因になります。	60Hz用器具を50Hz地区で使用すると火災の原因になります。	化粧鏡が落下するおそれがあります。また、トラッキングによる火災の原因になります。



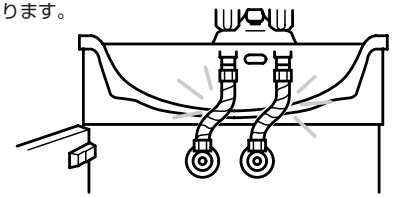


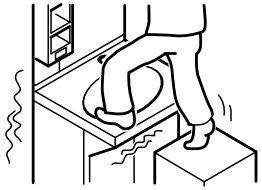
⚠注意

湯・水を逆に配管しない	工事完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する
水側でいきなりお湯が出て、火傷をする原因になります。	水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

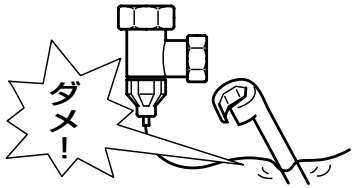


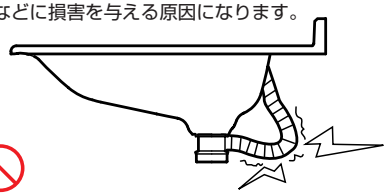
凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う	カウンター・洗面ボウルの上に乗らない
凍結損害で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。	故障および転落・転倒してケガの原因になります。





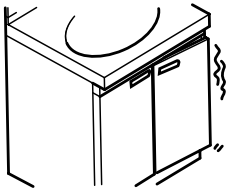
リードワイヤーに工具を引っかけない	オーバーフロー接続ホースを持ってカウンターを持ち上げたり、接続ホースを引っ張ったりしない
操作不良を起こす原因になります。	接続ホースやその接続部が破損し、水漏れのため家財などに損害を与える原因になります。





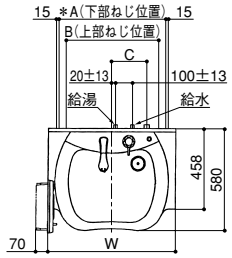
工事完了後、洗面ボウルの固定・配管カバーの固定・キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する

使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。

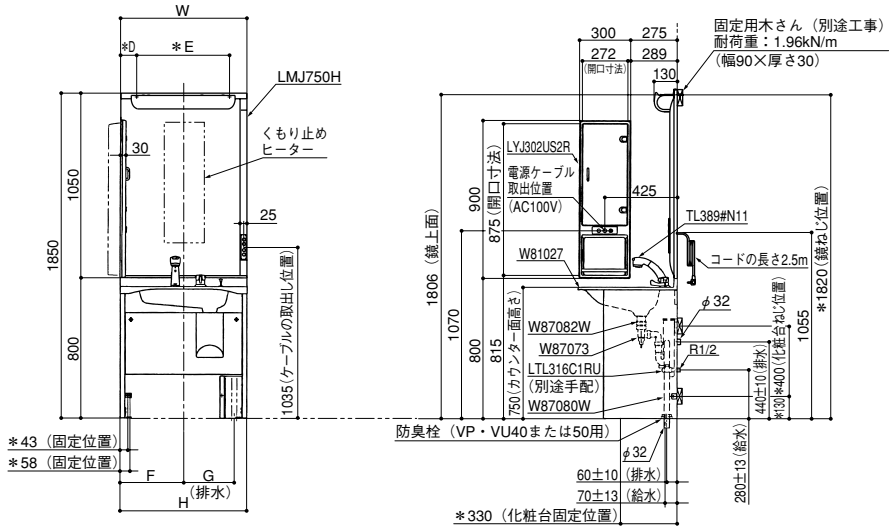


2. 工事寸法

※特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
※図は洗面化粧台（LDST750AT）、一面鏡（LMJ750H）、埋込収納棚（LYJ302US2R）です。
　その他の機種は、外観形状が異なります。
※＊は木ねじ位置です。
※化粧鏡の電源を直結配線される場合は下記の位置にケーブルを取り出しておいてください。
※止水栓は別途手配ください。（壁給水用LTL316C1RU　2個）

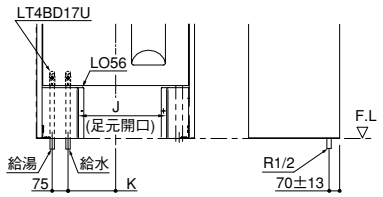


品　番	W	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDST750	750	630	550	205±10	192	315	372.5	300±10	745	421	225±13
LDST900	900	780	700	260±10	242	365	447.5	375±10	895	571	300±13
LDST1000	1000	880	800	260±10	117	715	497.5	425±10	995	671	350±13

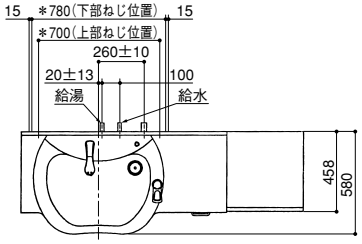


床給水の場合（750，900，1000サイズ）

※床給水の場合は別途、止水栓LT4BD17U（2個）、および床給水キットL056（1個）が必要です。

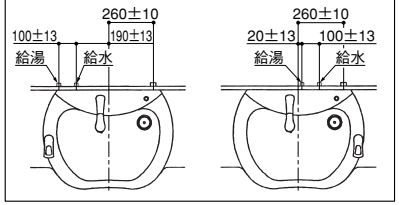


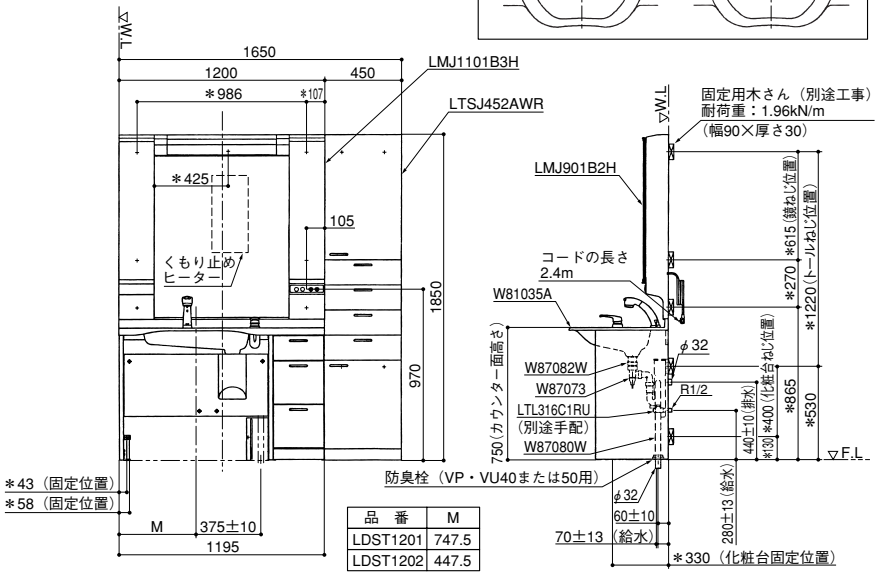
※特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
※図は洗面化粧台（LDST1202AR）、収納付化粧鏡（三面鏡）（LMJ1101B3H）、トールキャビネット（LTSJ452AWR）です。その他の機種は、外観形状が異なります。
※＊は木ねじ位置です。
※化粧鏡の電源を直結配線される場合は下記の位置にケーブルを取り出しておいてください。
※止水栓は別途手配ください。（壁給水用LTL316C1RU　2個）



ハンドル左右取付のときの壁給水位置

＊750サイズには取り付けられません。

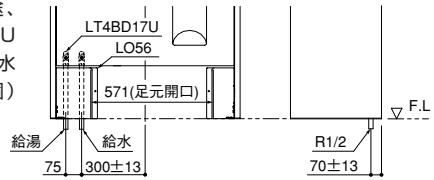




品　番	M
LDST1201	747.5
LDST1202	447.5

床給水の場合（1200サイズ）

※床給水の場合は別途、止水栓LT4BD17U（2個）、および床給水キットL056（1個）が必要です。



3. 部品明細

梱包部品明細（洗面化粧台LDST750A、LDST900A、LDST1000A）

1. 洗面ボウルの梱包箱に入っているもの

洗面ボウル	水栓金具（保証書同梱）		水受けトレイ
1個	1セット 水栓金具の部品明細は水栓金具の施工説明書をご覧ください。		1個
ワンプッシュ排水ボタン	排水トラップ	ヘアキャッチャー付き排水栓	目皿
1セット	1セット	1個	1個

配管カバー（左右水栓用）	小ねじ（配管カバー用）	
1個	M4×8　3本	（ご注意） 配管カバーと小ねじは水栓操作レバーが右または左取付仕様の場合のみ同梱されています。

2. 木部材の梱包箱に入っているもの

側板（左）	側板（右）	横さん（上）	横さん（下）
1枚	1枚	1枚	1枚
ニースペース板	化粧ねじ	配管カバー	防臭栓
1枚	2本	1個	1個
取扱説明書（保証書付）	座金付六角ナット	止めねじ	木ねじ
1冊	2個	2本	φ4.5×16　4本
木ねじ（壁固定用）	木ねじ		
φ4.5×50　2本	φ5×25　11本		

※床給水キットL056（別売品）に入っているもの

床給水管カバー	木ねじ	連結管	ニップル
1個	φ5×25　3本	2本	2個

梱包部品明細（洗面化粧台LDST1201A、LDST1202A）

1. 洗面ボウル一体型カウンターの梱包箱に入っているもの

洗面ボウル	水栓金具（保証書同梱）		水受けトレイ
1個	1セット 水栓金具の部品明細は水栓金具の施工説明書をご覧ください。		1個
ワンプッシュ排水ボタン	排水トラップ	ヘアキャッチャー付き排水栓	目皿
1セット	1セット	1個	1個

配管カバー（左右水栓用）	小ねじ（配管カバー用）	
1個	M4×8　3本	（ご注意） 配管カバーと小ねじは水栓操作レバーが右または左取付仕様の場合のみ同梱されています。

2. 木部材の梱包箱に入っているもの

側板（左）	側板（右）	横さん（上）	横さん（下）
1枚	1枚	1枚	1枚
ニースペース板	化粧ねじ	配管カバー	防臭栓
1枚	2本	1個	1個
取扱説明書（保証書付）	座金付六角ナット	止めねじ	木ねじ
1冊	2個	2本	φ4.5×16　4本
木ねじ（壁固定用）	木ねじ		
φ4.5×50　2本	φ5×25　11本		

※L056（床給水キット）の梱包部品の明細は5ページをご覧ください。

3. フロアキャビネット

フロアキャビネット	木ねじ（壁固定用）	木ねじ	皿木ねじ
1個	φ4.5×50　2本	φ4.5×16　4本	φ3.1×25　2本

4. 設置上の注意

●設置の際は床などを傷付けないように取り扱いに注意してください。
●湿気の多い場所では、腐食や木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
特に浴室内には、設置しないでください。
●直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
●取り付けは必ず平滑な平面としてください。
●取り付けの際は、必ず付属されているねじを使用してください。

5. 取り付け前の準備

●キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。（壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の板を強固に取り付けてください。）
※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。プラグ用の下穴は必ずご使用のプラグ指定のドリル径であけてください。
●給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
（取付位置の指定公差を外れると、取り付けに支障をきたすことがあります。）
●器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のゴミ・砂などを完全に洗い流してください。
●排水管を所定の位置に仕上げ面より約30mm立ち上げてください。

6. 使用条件

水栓金具の使用条件は、水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。

7. 施工のながれ

施工前の確認
・入荷製品のチェック
・施工現場チェック
（建築図面通り現場が出来ているかチェックする。）

↓

下準備
・補強さん位置の確認
・給水管、給湯管、排水管の取り出し位置の確認

↓

キャビネットの取り付け
・止水栓の取り付け
・キャビネットの組み立て
・キャビネットの固定（1200サイズはフロアキャビネットも取り付け）

↓

洗面ボウルの取り付け
・洗面ボウルの取り付け

↓

水栓金具の取り付け
・水栓金具の取り付け
・水栓金具のホースの接続
・シャワーホースの接続
・水受けトレイの取り付け

↓

排水トラップの取り付け
・ワンプッシュ排水ボタンの取り付け
・排水トラップの取り付け
・ワンプッシュ排水栓の接続

↓

カバー・その他の取り付け
・配管カバーの取り付け（床排水の場合）
・床給水管カバーの取り付け（床給水の場合）
・配管カバーの取り付け（左右水栓の場合）
・ニースペース板の取り付け
・周辺部材・オプションの取り付け

↓

取付完了後の確認と清掃
・化粧台の確認

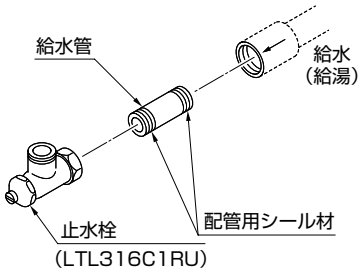
8. 取り付け手順（必ず番号順に取り付けてください）

1 止水栓の取り付け

■工具で確実に締め付けてください。

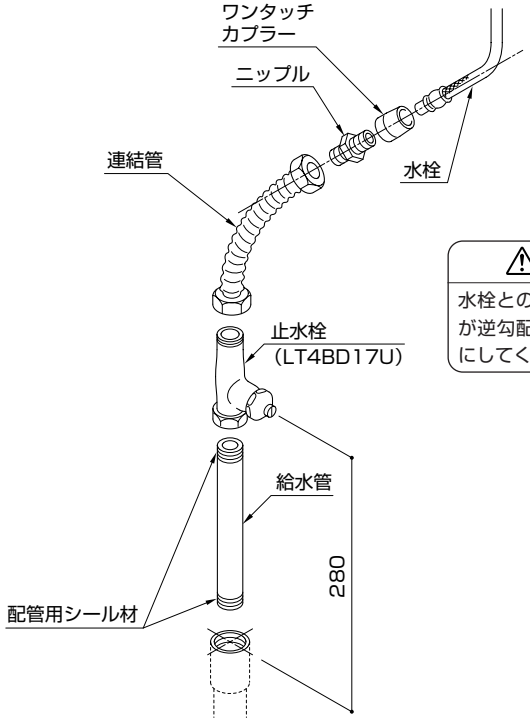
●壁給水の場合

止水栓LTL316C1RU（2個）をご使用ください。



●床給水の場合

止水栓LT4BD17U（2個）、および床給水キットL056（1個）をご使用ください。
床給水キット（L056）に付属の連結管とニップルおよび水栓金具に付属のワンタッチカプラーを図のように接続してください。

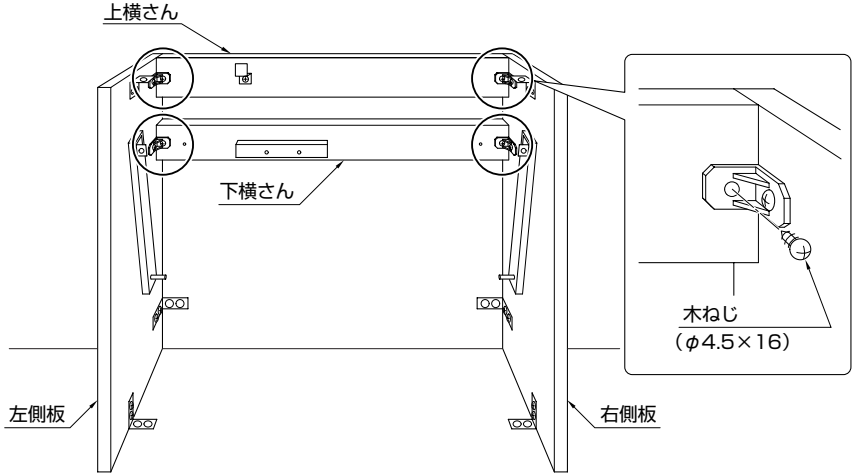


⚠注 意

水栓との接続の際、配管が逆勾配にならないようにしてください。

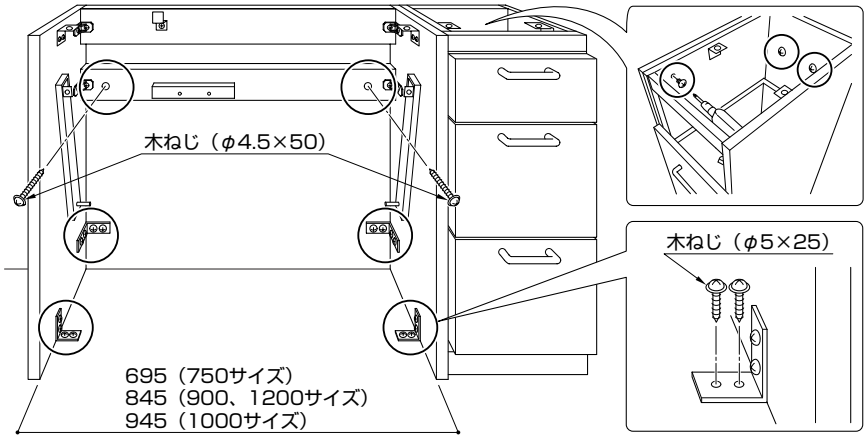
2 キャビネットの組み立て

■側板に横さんと木ねじ（φ4.5×16）を使って固定してください。



3 キャビネットの固定

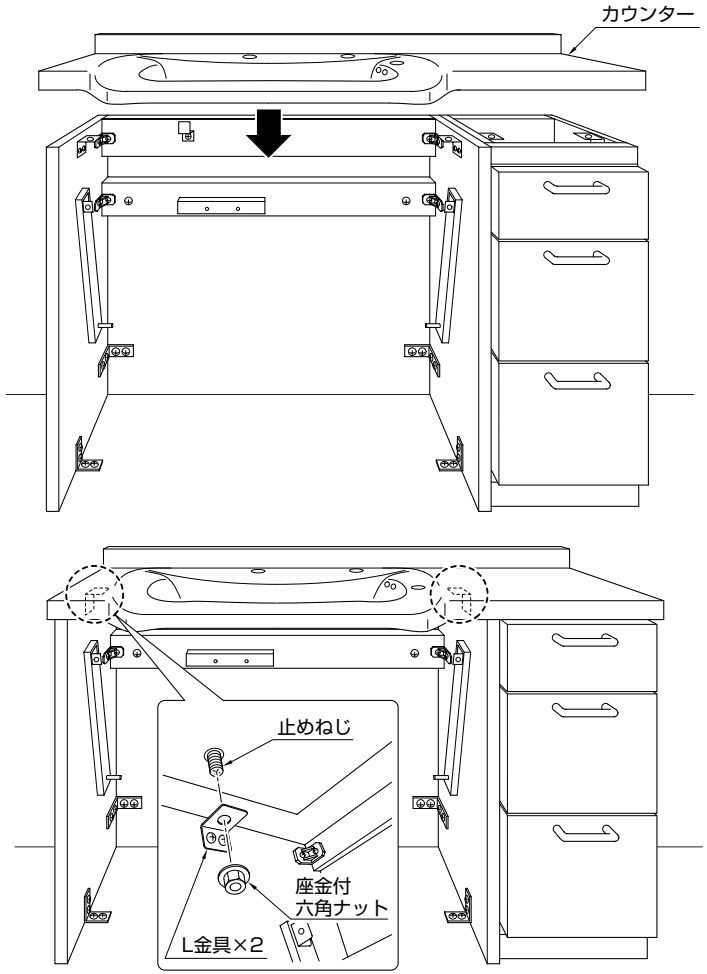
■床と壁に図のように固定してください。
フロアキャビネットはフロアキャビネットに付属の施工説明書にしたがい固定してください。



⚠注 意 間口寸法が正しくなっているか確認してください。

4 洗面ボウルの取り付け

■洗面ボウルを上に乗せ、図のように固定してください。
（LDST1201A、LDST1202Aの場合はキャビネットにも同様に２ヶ所固定）



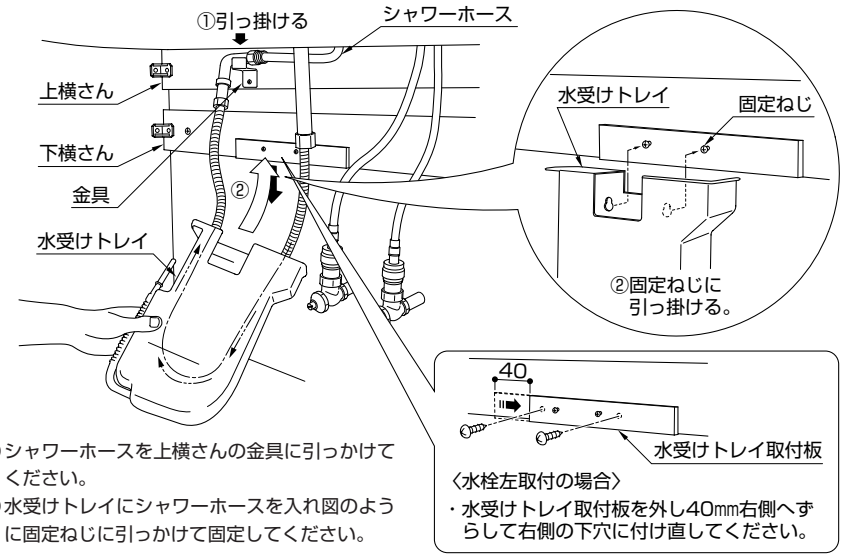
5 水栓金具の取り付け

■水栓金具に同梱の施工説明書にしたがい、取り付けてください。

6 給水・給湯・シャワーホースの接続

■水栓金具に同梱の施工説明書にしたがい、取り付けてください。

7 水受けトレイの取り付け

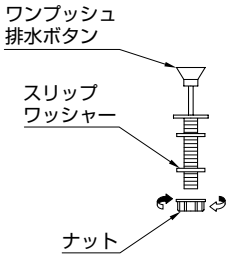


①シャワーホースを上横さんの金具に引っかけてください。
②水受けトレイにシャワーホースを入れ図のように固定ねじに引っかけて固定してください。

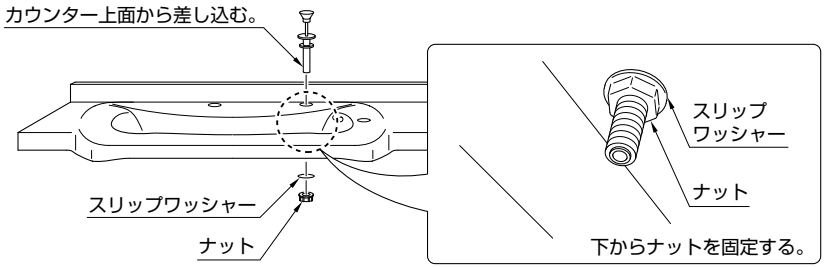
〈水栓左取付の場合〉
・水受けトレイ取付板を外し40㎜右側へずらして右側の下穴に付け直してください。

8 ワンプッシュ排水ボタンの取り付け

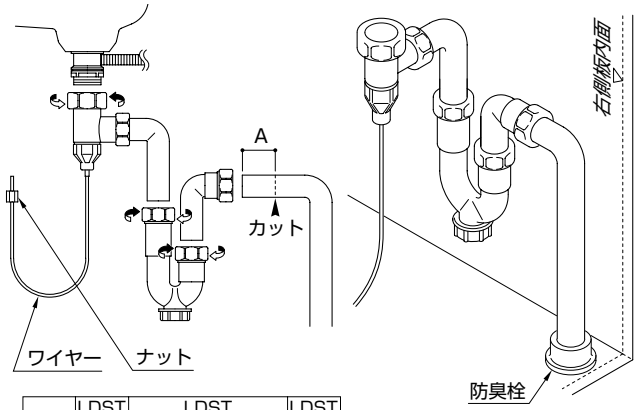
①ワンプッシュ排水ボタンからナットとスリップワッシャーを取り外します。



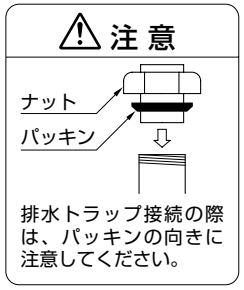
②ワンプッシュ排水ボタンをカウンター上面から差し込み、図のように固定してください。



9 排水トラップの取り付け（床排水の場合）

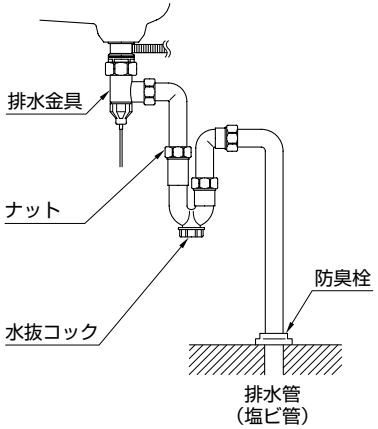


	LDST 750A	LDST 900A,1201A,1202A	LDST 1000A
A寸法	105	50	0

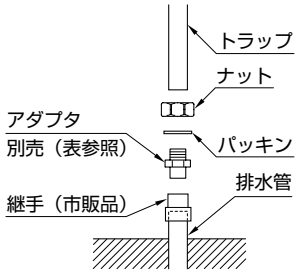


■排水トラップを順番に取り付けてください。
ナットは手で確実に締め付けてください。（工具は使用しないでください。）
①接続の前にＡ部をカットしてください。
②床排水の場合はトラップに防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。

■集合住宅・高層住宅の場合は排水管とトラップを別売のアダプター（下表）で確実に接合してください。



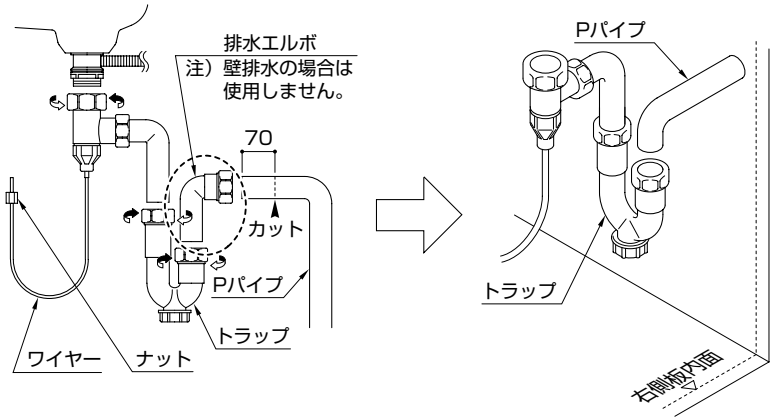
アダプタの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1 1/4
T1122J（塩ビ管用）	30用
T1122T（塩ビ管用）	40用



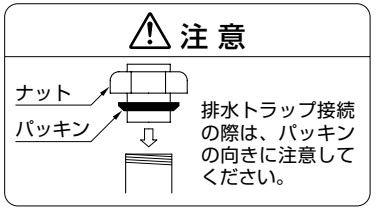
集合・高層住宅の場合

10 排水トラップの取り付け（壁排水の場合）

注）洗面化粧台の排水仕様は壁・床排水兼用です。



■排水トラップを順番に取り付けてください。
ナットは手で確実に締め付けてください。
（工具は使用しないでください。）
①排水エルボを外し、Ｐパイプを図のように70mmカットします。
②カットしたＰパイプをトラップに接続します。
③Ｐパイプは排水管に確実に接合してください。

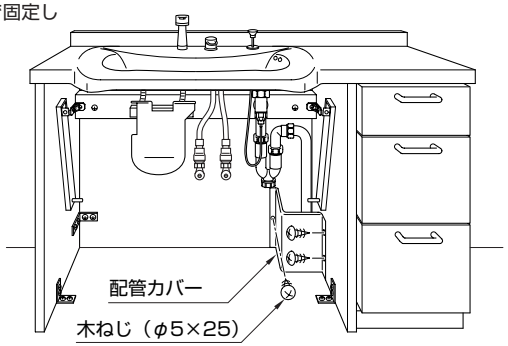


11 ワンプッシュ排水栓の接続

■ワイヤーのナットを排水栓操作部に取り付けてください。
ナットは手で確実に締め付けてください。

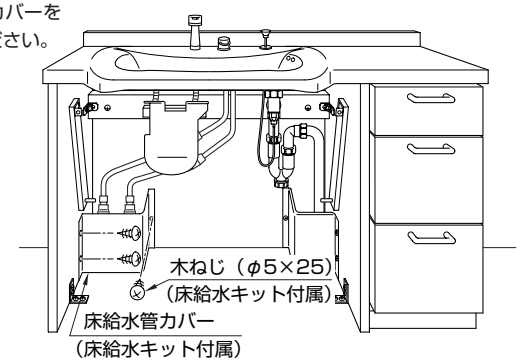
12 配管カバーの取り付け（床排水の場合）

■配管カバーを木ねじ（φ５×25）３本で固定してください。



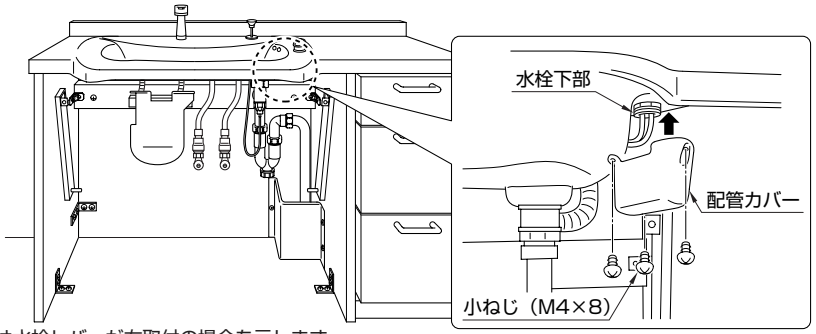
13 床給水管カバーの取り付け（床給水の場合）

■床給水キットL056に付属の床給水管カバーを木ねじ（φ５×25）３本で固定してください。



14 配管カバーの取り付け（左右水栓の場合）

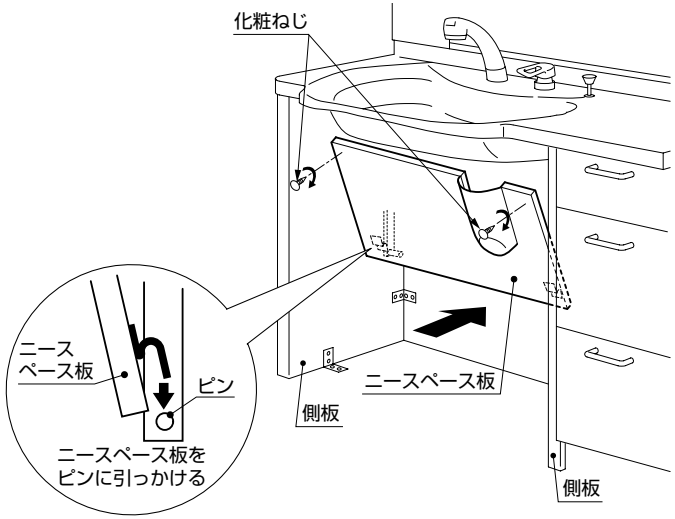
■配管カバーを小ねじ（M4×8）３本で固定してください。



※図は水栓レバーが右取付の場合を示します。

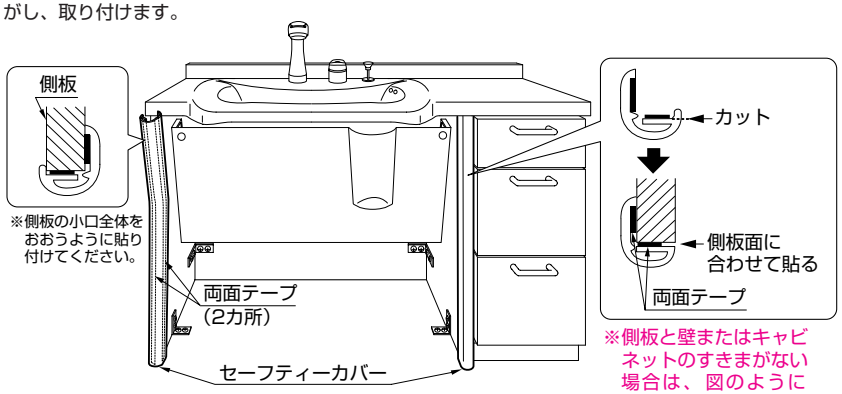
15 ニースペース板の取り付け

■ニースペース板の金具を側板のピンに引っかけて、上面２ヶ所を化粧ねじで固定してください。



16 オプション（セーフティカバーの取り付け）

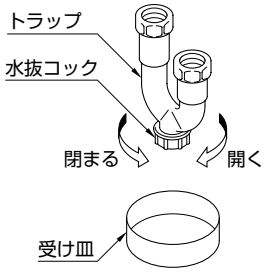
■セーフティカバーの両面テープ（２ヶ所）をはがし、取り付けます。



※側板と壁またはキャビネットのすきまがない場合は、図のようにカットして貼りつけてください。

9. 寒冷地タイプの水抜き方法

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。



〈水栓金具の水抜き〉
①水栓金具の水抜き方法については、水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。

〈排水トラップの水抜き〉
①水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。
②水抜き後は、必ず水抜きコックを確実に閉じてください。

10. 取付完了後の確認と清掃

●湯水の出が多い場合は、洗面器からの水はねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
●製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたく絞ってふきとってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきをしてください。
シンナー、ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

MEMO